

＜第6回 若林地域会議 会議録＞

日 時 令和6年9月20日（金） 19:00～20:45
場 所 若林交流館 多目的ホール
出席者 委 員 15名
事務局 吉澤支所長、倉地主事
オブザーバー 太田市議

1 会長あいさつ〈省略〉

2 報告事項

（1）第5回若林地域会議会議録について
高岡支所より報告

（2）若林自治区防災訓練への支援報告について
高岡支所より報告
・ 防災訓練の実施内容について
・ 高岡支所の支援内容について

（3）高美町桜並木の今後の計画について
高岡支所より報告
・ 今年度の植樹及び伐採等の対応について
・ 来年度以降の計画について

〈委 員〉危険木が年々増加しており、枝が垂れ下がっている木も散見される。そういった危険になった木から随時剪定するような仕組みにもしてほしい。

〈事務局〉年々危険木が増加していることは承知しているため、可能な限り計画を前倒ししながら実施したいと考えている。今回の伐採では枝折れや倒木で人家への被害が想定されるところをピックアップしている。委員として危険木を見つけたときには随時高岡支所へ連絡してほしい。

〈委 員〉倒木するとどういった被害が想定されるか。

〈事務局〉道路側へ倒木することへの危機感を持っている。人家への被害を防ぐために、できる限り道路側へ重心が傾いている木を選んで、今年度は伐採の対応をする。

〈委 員〉道路側へ倒れないというのは風も考慮しているか。台風などの強風の場合には重心関係なく道路側へ倒木するのではないか。

〈事務局〉相当大的な木ばかりなので、風の影響を受けて重心と逆方向に倒れるというのは考えにくい。ただ、危険なことには変わらないので、来年度以降もできるだけ早く老木の伐採対応ができるようにしていく。

〈委 員〉伐採した後の株をそのままにしておくと、腐ってしまい、その空洞にハチの巣ができています。

〈事務局〉元々の目的は伐根しやすいように株の腐食を待っていた。ただ、最近出た新しい機械で、新しい株でも伐根ができるものがあるので、そういった被害が出ないように今後伐根も計画していく。

〈委員〉点検の時期によって木の状況は違うと思うが、大雨や強風のあとの点検はどう対応しているのか。

〈事務局〉悪天候のあとには桜並木保存会が随時点検をし、連絡をもらうという体制ができており、その後支所も確認に行くようにしている。

(4) 高岡4地域合同事業：自主防災サポーター養成講座

高岡支所より報告

〈委員〉防災ラジオを申し込んで3カ月待っても連絡がなかったなので、連絡をしてみると半年かかると言われた。そんな状態ではダメではないか。

〈委員〉今回に限った話ではなく、全員待ってもらっている。

〈委員〉購入するときにどれくらいの期間がかかるか教えてほしかった。

〈委員〉今回は自主防災会のみ絞るという話だが、今後は一般の方にも枠を広げる想定はあるか。

〈事務局〉来年度以降は一般の方の応募も検討している。また、今年度と同様の内容ではなく、ブラッシュアップしてより効果的な方法も検討していく。

(5) 令和6年度・7年度 地域課題解決事業について（高岡4地域合同事業）

高岡支所より報告

- ・追加事項としてラードライバーのデモ走行の実施、減災館への見学会、特殊詐欺被害の実践セミナーを予定

(6) 若林ふれあいまつり実施計画

日時：令和6年10月27日（日） 9：30～14：00

場所：若林交流館 2階 大会議室

出展内容：防災物品展示、防災クイズ、ドライビングストレッチ動画

〈委員〉防災物品を展示するときに、どこで買えるのか、いくらで買えるのかを掲示してほしい。

〈事務局〉特定の店舗を明示できないため、質問されたときに答えられるように準備しておく。

〈委員〉豊田市内でも7か所くらい購入できる場所がある。

3 協議事項

(1) (仮称) 若林防災フェスタ 企画（案）

高岡支所より説明

- ・ターゲットに対する宣伝方法、ターゲットが参加したくなる仕組みづくり、フェスタ実施に際してかかる経費について検討

OA グループ

- ・ターゲットに対する宣伝方法

チラシを作成し、小中学校に配布。豊田南高校にもできれば配布したい。防災ラジオで広告ができればしたい。外国人向けのチラシもできれば作りたい。

- ・ターゲットが参加したくなる仕組みづくり

ゲーム要素を取り入れたイベントにしたい。消防のはしご車体験、レッドサラマンダー、トヨタ自動車のミライドンは子どもの集客につながるのではないかな。

- ・予算

スタンプラリーの景品としてミニランタンは防災の観点から良いのではないかな。また、蛍光マーカーや鉛筆も子どもが欲しがるとはのではないかな。ケガをしたときのために保険もかけてほしい。

OBグループ

- ・ターゲットに対する宣伝方法

来てもらった子どもに防災を理解してもらいたいため、小学校高学年から中学生に絞る。宣伝はチラシやポスターを作成する。

- ・ターゲットが参加したくなる仕組みづくり

岡崎にあるレッドサラマンダーや豊田市にある消火・排煙車を呼び、チラシに大きく掲載する。スタンプラリー完了者に景品を渡す。有名人として、豊田市出身のガンバレルーヤを呼ぶ。

- ・予算

詳細は不明。

OCグループ

- ・ターゲットに対する宣伝方法

チラシを作成し、こども園と小学校に配布する。また、子どもたちにファイヤーマンショーが人気のため、チラシにファイヤーマンショーがあることを盛り込む。

- ・ターゲットが参加したくなる仕組みづくり

消防署と合同で実施することが必要ではないかな。スタンプラリーはとても良いと思う。

- ・予算

チラシの作成、スタンプラリーの台紙、景品

4 その他

(1) 防災士養成研修会のご案内

高岡支所より説明

〈委員〉申し込みは支所にすればよいのか。

〈事務局〉申し込みは防災対策課にしてもらえるとありがたい。

〈委員〉救急救命講習を受講していないと受講できないと書いてあるがどうか。

〈事務局〉次回の会議で説明するが、今回受ける方には期限までに個別で連絡する。

★次回開催

第7回定例会：令和6年10月25日（金）午後7時から 場所：若林交流館多目的ホール